

# 第76期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

## 株 主 メ モ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
1 単 元 の 株 式 数	100株
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
	決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ ( <a href="http://www.tachibana.co.jp/">http://www.tachibana.co.jp/</a> )に掲載しております。
名 義 書 換 代 理 人	三菱信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120 - 707 - 696 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
買 取 請 求 お よ び 買 増 請 求	名義書換代理人事務取扱場所および取次所にて受付けております。ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。また、買増請求は、毎年3月31日および9月30日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間はお取扱いができませんので、ご注意ください。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第76期中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

平成16年12月

取締役社長 渡 邊 武 雄

当中間期におけるわが国の経済は、個人消費の緩やかな増加や中国をはじめ米国など世界経済の拡大とともに輸出や生産が増加するなか、民間設備投資の増加を背景に回復基調で推移いたしました。

当社企業グループの関連する業界におきましては、政府の公共投資の抑制が継続するなど建設関連では厳しい状況となりましたが、半導体や自動車分野が好調なことから、デジタル情報家電などの民生を中心とした半導体及び液晶関連や自動車電装関連などに積極的な設備投資が行われる状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社企業グループは、更なる成長を遂げるために、中長期ビジョン『GT21』（Growing Tachibana 21<sup>st</sup> Century）として2010年3月期を最終年度とする計画を策定し、初年度計画の達成に鋭意努力いたしました。販売面では、電機・電子の技術商社として「エレクトリック&エレクトロニクス・テクノロジー」をスローガンに、FAシステム、半導体デバイス、情報通信、施設の各事業分野における戦略商品の拡販に注力するとともに、高度化、多様化する商品の幅広いコンサルティングセールスを積極的に取り組んでまいりました。加えて、8月には管工事業を営む会社と電気機械器具の販売を営む会社を完全子会社化しグループ全体の事業強化に努めてまいりました。一方、管理面では、人材の発掘と育成に注力するとともに、引き続き債権リスク管理の徹底や販売管理費の抑制を追求し更なる財務体質の強化を図ってまいりました。その結果、連結売上高は876億5百万円（前年同期比4.5%減）、経常利益は17億42百万円（前年同期比19.4%増）、中間純利益は10億34百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき6円とさせていただきます。

【電気機器】 売上高：90億97百万円（前年同期比 108.7%）

回転機器は、製造業全般にわたる需要の回復や中国を中心とした間接輸出の需要の伸長により標準・特殊モートル並びにギヤードモートルが好調に推移いたしました。静止機器は、省エネをはじめとしたエネルギー管理の高まりとともに、リニューアル物件を中心とした設備投資の増加により高圧遮断器が大幅に伸長いたしました。また、制御盤メーカー向けにノーヒューズ遮断器、電磁開閉器などが大きく伸長いたしました。その結果、分野全体としては前年同期比8.7%の増加となりました。

【電子・情報機器】 売上高：391億96百万円（前年同期比 86.6%）

FA機器は、好調な半導体や液晶、自動車並びにIT関連メーカーの積極的な設備投資により、サーボ、シーケンサ、インバータ、表示器など全般にわたり大幅に増加するとともに、駆動ビジネスの将来を担う高応答・ネットワーク化されたサーボシステムコントローラーが売上に貢献いたしました。情報機器は、コンピュータ分野のオフィスサーバやシンクライアントシステム及び映像分野のタッチパネル付液晶モニターが伸長したものの、販売ウエイトの高い通信機器分野の携帯電話の委託生産及び中国向けPHS基地局の受注が大幅に減少いたしました。その結果、分野全体としては前年同期比13.4%の減少となりました。

【半導体デバイス】 売上高：289億12百万円（前年同期比 98.7%）

半導体は、携帯電話向けのフラッシュメモリーの価格下落によりメモリーが減少いたしました。携帯電話向けのカメラモジュールなどのASICに加え、エアコン向け電力用半導体のパワー素子やハイブリッドICが大幅に増加いたしました。また、DVDなどデジタル情報家電製品やカーオーディオなどにマイコンが順調に推移いたしました。電子デバイスは、表示デバイスが大幅に減少いたしました。

たが、給湯器用基板などのEMS（電子部品受託製造サービス）事業が順調に推移するとともに、プロジェクター用光源ランプが大幅に増加いたしました。その結果、分野全体としては前年同期比1.3%の減少となりました。

【産業機械】 売上高：31億99百万円（前年同期比 116.6%）

産業機械は、IT関連や自動車関連をはじめ中国特需による建機関連などが活況を呈し、携帯電話向け液晶製造装置やデジタル情報家電製品向けフラットパネルディスプレイ製造装置対応の設備投資にワイヤカット放電加工機が引き続き好調に推移するとともに、中国向け建機や船舶の建造用にレーザー加工機が大きく伸長いたしました。また、液晶生産ライン向けのクリーンロボットの受注も売上に貢献いたしました。その結果、前年同期比16.6%の大幅な増加となりました。

【設備機器その他】 売上高：71億99百万円（前年同期比 117.3%）

建設関連では、大型建設案件が少なくエレベーターの受注が減少いたしました。民間設備投資の増加に伴い、受配電設備が大幅に増加するとともに、空調機器、低温機器、照明器及び住宅設備機器の電気温水器や床暖房などのオール電化製品などが全般にわたり好調な推移となりました。貿易関係は、エレクトロニクス関連製品として、台湾向けにチップコンデンサー用のニッケルペーストや台湾・香港向けにキャリアテープなどの化成品が大幅に増加するとともに、金属加工品の船用バルブや車輛用内装金具なども増加し売上に貢献いたしました。その結果、分野全体としては前年同期比17.3%の大幅な増加となりました。

今後の見通しといたしましては、個人消費の緩やかな増加や企業収益の大幅な回復に伴い、民間設備投資の増加が続くものと見込まれますが、原油高の長期化による先行き不透明感など経営環境は楽観を許さない状況が予測されます。

当社企業グループといたしましては、技術商社として近未来の2010年3月期を最終年度として策定いたしました中長期ビジョン『GT21』を確実なものとするべく、この計画のもと技術統合力を生かしたシステムインテグレーターとして、成長事業分野であるIT産業やFA、自動車分野全般へのトータル・ソリューション・ビジネスを積極的に推進し、お客様の問題解決や要求の実現に向けて総合的に取り組んでまいります。海外事業では、国内との連携をより強力に推進し、日系企業を中心とした中国進出の顧客開拓に注力するとともに、EMS（電子部品受託製造サービス）事業の一層の拡大に向けて注力してまいります。また、企業グループの事業強化の一環として8月に子会社化した2社の一層の強化を図るとともに、技術力をベースとした戦略商品の取り組みを積極的に推進するなど、更なる発展と安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

業界を取り巻く環境は依然厳しいものと思われませんが、業績の向上に邁進してまいり所存であります。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 製品分野別売上高の状況（連結）

区 分	第76期中間期 (16.4.1 ~ 16.9.30)		第75期中間期 (15.4.1 ~ 15.9.30)		前年同期比
	売上高	構 成	売上高	構 成	
	百万円	%	百万円	%	%
電 気 機 器	9,097	10.4	8,367	9.1	108.7
電 子 ・ 情 報 機 器	39,196	44.7	45,248	49.3	86.6
半 導 体 デ バ イ ス	28,912	33.0	29,284	31.9	98.7
産 業 機 械	3,199	3.7	2,744	3.0	116.6
設 備 機 器 そ の 他	7,199	8.2	6,136	6.7	117.3
合 計	87,605	100.0	91,781	100.0	95.5

## 営業成績及び財産の状況の推移（連結）

区 分 \ 期 別	第76期中間期 (16.4.1 ~ 16.9.30)	第75期中間期 (15.4.1 ~ 15.9.30)	第 75 期 (15.4.1 ~ 16.3.31)
売 上 高 (百万円)	87,605	91,781	180,188
経 常 利 益 (百万円)	1,742	1,460	3,010
中間(当期)純利益(百万円)	1,034	864	1,742
総 資 産 (百万円)	76,728	79,189	84,566
純 資 産 (百万円)	23,723	21,729	22,897

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
	(平成16年9月30日現在)	(平成15年9月30日現在)		(平成16年9月30日現在)	(平成15年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	69,255	72,140	<b>流動負債</b>	50,993	55,788
現金及び預金	9,322	12,139	支払手形及び買掛金	44,399	49,180
受取手形及び売掛金	49,789	51,707	短期借入金	3,034	3,447
たな卸資産	7,495	6,204	未払法人税等	805	771
繰延税金資産	445	426	賞与引当金	717	641
未収入金	2,068	1,705	その他	2,037	1,747
その他	189	170	<b>固定負債</b>	2,010	1,671
貸倒引当金	56	212	社 債	1,000	1,000
<b>固定資産</b>	7,473	7,048	長期借入金	158	100
<b>有形固定資産</b>	3,197	3,209	退職給付引当金	453	447
建物及び構築物	2,533	2,638	役員退職慰労引当金	177	123
機械装置及び運搬具	12	9	繰延税金負債	221	0
工具器具及び備品	97	115	<b>負債合計</b>	53,004	57,459
土地	554	447	<b>(資本の部)</b>		
<b>無形固定資産</b>	571	333	<b>資本金</b>	4,226	4,226
ソフトウェア	315	280	<b>資本剰余金</b>	4,097	4,030
電話加入権	1	22	<b>利益剰余金</b>	14,942	13,301
連結調整勘定	223		その他有価証券評価差額金	652	395
その他	31	30	為替換算調整勘定	36	11
<b>投資その他の資産</b>	3,704	3,505	<b>自己株式</b>	158	214
投資有価証券	3,236	2,965	<b>資本合計</b>	23,723	21,729
長期貸付金	31	11	<b>負債・資本合計</b>	76,728	79,189
繰延税金資産	3	64			
その他	541	878			
貸倒引当金	108	413			
<b>資産合計</b>	76,728	79,189			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

TACHIBANA ELETECH

(単位：百万円)

科 目		当中間期	前中間期
		(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)	(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)
経 常 損 益 の 部	営業収益	87,605	91,781
	売上高	87,605	91,781
	営業費用	85,791	90,226
	売上原価	80,542	85,367
	販売費及び一般管理費	5,248	4,859
	営業利益	1,814	1,554
	営業外収益	82	68
	受取利息	6	5
	受取配当金	27	22
	為替差益	6	
持分法による投資利益	0	0	
社宅使用料	5	6	
その他	36	33	
営業外費用	154	162	
支払利息	32	34	
債権譲渡損	8	14	
売上割引	89	83	
為替差損		2	
その他	23	27	
経常利益	1,742	1,460	
特別損益	136	139	
特別損失	38	34	
税金等調整前中間純利益	1,840	1,565	
法人税、住民税及び事業税	745	756	
法人税等調整額	61	55	
中間純利益	1,034	864	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
<b>(資本剰余金の部)</b>		
資本剰余金期首残高	4,075	4,030
資本剰余金増加高	21	-
自己株式処分差益	21	
資本剰余金中間期末残高	4,097	4,030
<b>(利益剰余金の部)</b>		
利益剰余金期首残高	14,083	12,571
利益剰余金増加高	1,034	864
中間純利益	1,034	864
利益剰余金減少高	175	133
配当金	129	96
役員賞与	46	37
利益剰余金中間期末残高	14,942	13,301

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,479	1,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	122	51
財務活動によるキャッシュ・フロー	34	366
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	1
現金及び現金同等物の増加額	2,629	1,984
現金及び現金同等物の期首残高	11,925	10,155
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,295	12,139

## 中間貸借対照表(単体)

TACHIBANA ELETECH

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 (平成16年9月30日現在)	前 中 間 期 (平成15年9月30日現在)	科 目	当 中 間 期 (平成16年9月30日現在)	前 中 間 期 (平成15年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	66,591	68,951	<b>流動負債</b>	49,046	53,573
現金及び預金	7,876	10,516	支払手形	4,608	4,680
受取手形	8,435	7,663	買掛金	38,349	42,333
売掛金	40,661	42,860	短期借入金	2,940	3,425
商 品	6,736	5,799	未払法人税等	749	722
繰延税金資産	436	416	賞与引当金	695	623
未収入金	2,087	1,717	その他	1,704	1,789
その他	410	181	<b>固定負債</b>	1,664	1,647
貸倒引当金	51	205	社 債	1,000	1,000
<b>固定資産</b>	7,076	7,286	長期借入金	50	90
有形固定資産	2,995	3,162	退職給付引当金	437	433
無形固定資産	330	317	役員退職慰勞引当金	177	123
投資その他の資産	3,750	3,806	<b>負債合計</b>	50,710	55,221
繰延税金資産	13	253	<b>(資本の部)</b>		
その他	3,799	3,966	<b>資本金</b>	4,226	4,226
貸倒引当金	61	413	<b>資本剰余金</b>	4,097	4,030
<b>資産合計</b>	73,668	76,238	資本準備金	4,030	4,030
			自己株式処分差益	66	
			<b>利益剰余金</b>	14,127	12,578
			利益準備金	349	349
			別途積立金	12,000	10,800
			中間未処分利益	1,778	1,428
			<b>株式等評価差額金</b>	654	395
			<b>自己株式</b>	149	214
			<b>資本合計</b>	22,957	21,017
			<b>負債・資本合計</b>	73,668	76,238

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。  
 3. 受取手形割引高  
 4. 有形固定資産の減価償却累計額
- |                   | 当 中 間 期  | 前 中 間 期  |
|-------------------|----------|----------|
| 3. 受取手形割引高        | 676百万円   | 829百万円   |
| 4. 有形固定資産の減価償却累計額 | 3,474百万円 | 3,293百万円 |

## 中間損益計算書（単体）

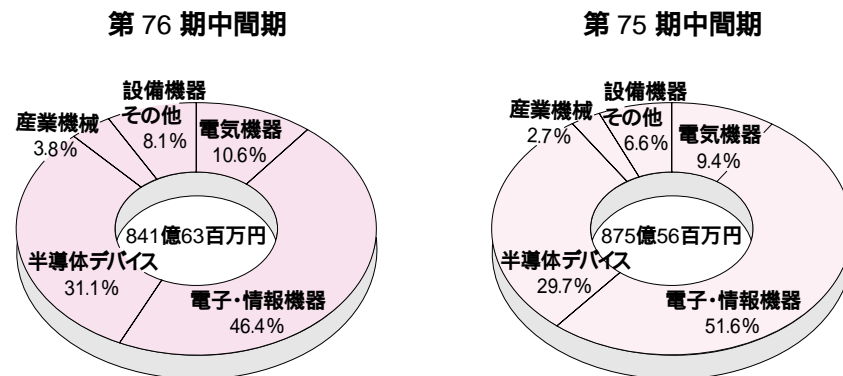
（単位：百万円）

科 目		当 中 間 期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
経常 損益 の 部	営業収益	84,163	87,556
	売上高	84,163	87,556
	営業費用	82,474	86,184
	売上原価	77,626	81,675
	販売費及び一般管理費	4,847	4,509
	営業利益	1,689	1,371
	営業外収益	66	61
	受取利息及び配当金	29	23
	雑収入	36	37
	営業外費用	141	155
	支払利息	23	26
	社債利息	6	6
	売上割引	89	82
雑支出	21	39	
経常利益	1,614	1,277	
特 別 損 益 の 部	特別利益	135	141
	特別損失	35	34
税引前中間純利益		1,714	1,384
法人税、住民税及び事業税		712	719
法人税等調整額		15	80
中間純利益		986	745
前期繰越利益		791	683
中間未処分利益		1,778	1,428

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## 製品分野別売上高の状況（単体）

TACHIBANA ELETECH



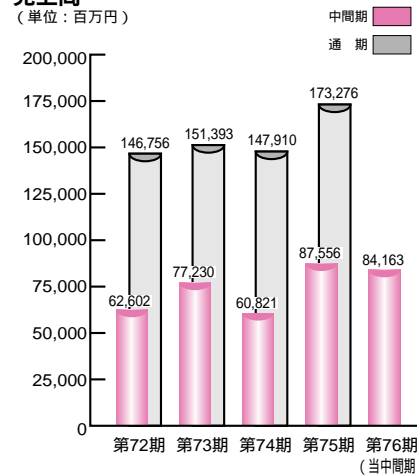
区 分	第76期中間期 (16.4.1 ~ 16.9.30)		第75期中間期 (15.4.1 ~ 15.9.30)		前年同期比
	売上高 百万円	構 成 %	売上高 百万円	構 成 %	
電 気 機 器	8,902	10.6	8,229	9.4	108.2
電 子 ・ 情 報 機 器	39,046	46.4	45,186	51.6	86.4
半 導 体 デ バ イ ス	26,152	31.1	25,963	29.7	100.7
産 業 機 械	3,202	3.8	2,388	2.7	134.1
設 備 機 器 そ の 他	6,860	8.1	5,788	6.6	118.5
合 計	84,163	100.0	87,556	100.0	96.1

## 営業成績及び財産の状況の推移（単体）

区 分	期 別	第76期中間期 (16.4.1～16.9.30)	第75期中間期 (15.4.1～15.9.30)	第 75 期 (15.4.1～16.3.31)
売 上 高 (百万円)		84,163	87,556	173,276
経 常 利 益 (百万円)		1,614	1,277	2,766
中間(当期)純利益 (百万円)		986	745	1,579
総 資 産 (百万円)		73,668	76,238	82,371
純 資 産 (百万円)		22,957	21,017	22,201

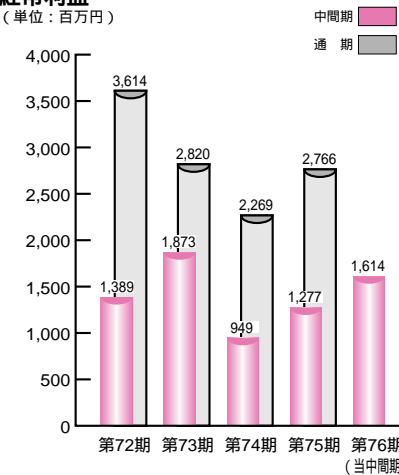
### 売上高

(単位：百万円)



### 経常利益

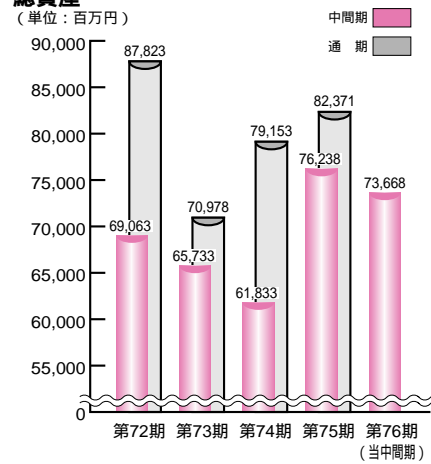
(単位：百万円)



## 業績の推移（単体）

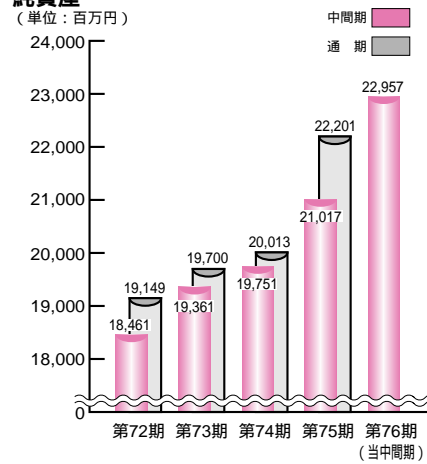
### 総資産

(単位：百万円)



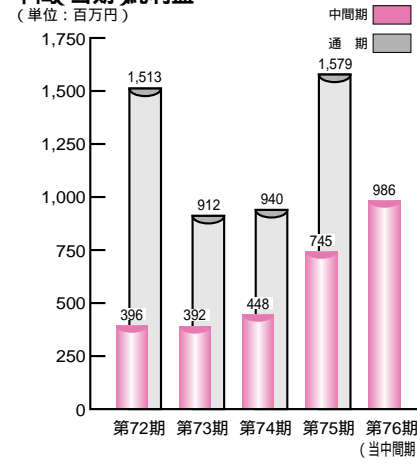
### 純資産

(単位：百万円)



### 中間(当期)純利益

(単位：百万円)



## 1株当たり指標(単体)

区 分 \ 期 別	第76期中間期 (16.4.1 ~ 16.9.30)	第75期中間期 (15.4.1 ~ 15.9.30)	第75期 (15.4.1 ~ 16.3.31)
1株当たり中間(当期)純利益(円)	60.83	46.33	95.56
1株当たり株主資本(円)	1,412.75	1,309.01	1,372.27

## 会社の概要(平成16年9月30日現在)

TACHIBANA ELETECH

会 社 名 株式会社 立花エレテック  
 英 文 社 名 TACHIBANA ELETECH CO., LTD.  
 創 業 大正10年9月1日  
 設 立 昭和23年7月12日  
 資 本 金 42億2,699万3,200円  
 従 業 員 数 男性 555名 女性 164名 合計 719名  
 主要な事業所

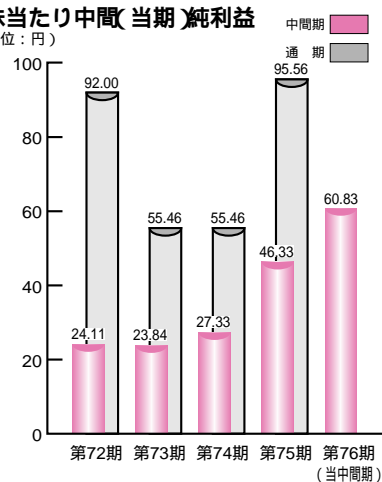
本 社 大阪市西区西本町1丁目13番25号  
 支 社 東京(東京都) 名古屋(愛知県)  
 支 店 東関東(茨城県) 北関東(埼玉県) 神奈川(神奈川県)  
 北 陸(石川県) 三重(三重県) 三 河(愛知県)  
 南大阪(大阪府) 神 戸(兵庫県) 九 州(福岡県)  
 営 業 所 東北(宮城県) 滋 賀(滋賀県) 四 国(香川県)  
 他各主要都市

海外駐在員事務所 シンガポール 香 港 台 湾 上 海

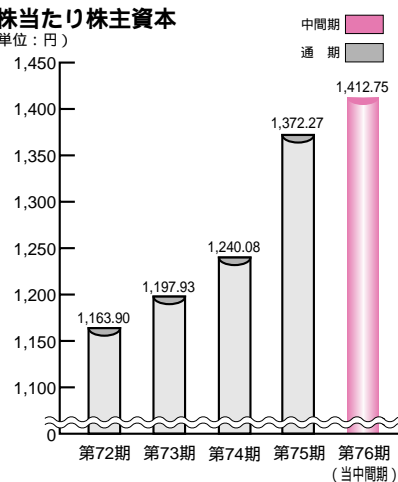
### 主要な取扱品目

区 分	主 要 取 扱 品 目
電 気 機 器	各種モートル、可変速機器、電磁クラッチ、電磁開閉器、有圧換気扇、産業扇、ホイスト、ノーヒューズ遮断器、漏電遮断器、電力量計、指示計器、計器用変成器、トランス、電力ヒューズ、高圧遮断器、その他
電 子 ・ 情 報 機 器	インバータ、サーボ、シーケンサ、表示器、FAシステム、クライアントサーバシステム、POSシステム、オフコン、パソコン、液晶モニタ、CRTモニタ、ファクシミリ、工業用テレビ装置、通信機器、多重伝送装置、超音波探傷機、サーマルプリンタ、表示映像機器、その他
半 導 体 デ バ イ ス	メモリー、マイコン、ASIC、パワー素子、半導体応用製品、光デバイス、LCDモジュール、プロジェクター用ランプ、サーマルヘッド、組立基板、その他
産 業 機 械	放電加工機、電子ビーム加工機、短パルスレーザー加工機、CAD/CAM、工作機械、産業用ロボット、NC装置、誘導加熱装置、プレス、各種炉、ボイラー、その他
設 備 機 器 其 他	エレベーター、エスカレーター、受変電設備機器、監視制御装置、無停電電源装置、照明器具、パッケージエアコン他空調機器、冷凍機、ショーケース、ルームエアコン、暖房機、給湯機、換気扇、防災・防犯設備機器、オール電化機器、バスダクト、電子部品関連材料、スリングチェーン、電力通信ケーブル、キャリアテープ、その他

1株当たり中間(当期)純利益  
(単位:円)



1株当たり株主資本  
(単位:円)



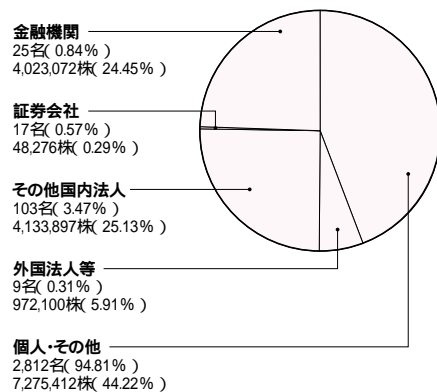
## 株式の状況 (平成16年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 16,452,757株  
 株主数 2,966名

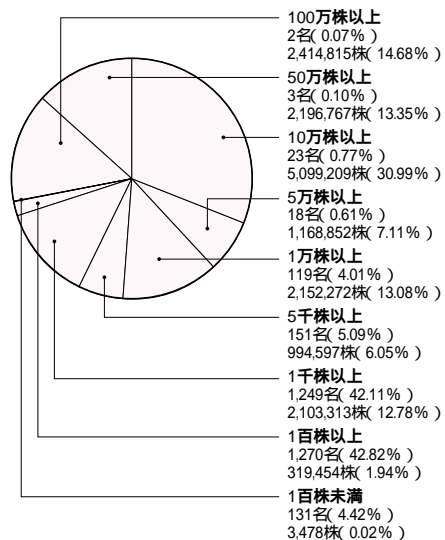
### 大株主

株主名	持株数	株主名	持株数
三菱電機株式会社	1,294,815株	立花浪子	394,912株
株式会社サンセイテクノス	1,120,000	日本生命保険相互会社	392,509
立花エレテック従業員持株会	976,829	佐竹千草	371,449
株式会社東京三菱銀行	658,738	株式会社伊予銀行	330,034
バンクオブニューヨークフォーゴールドマン サックスインターナショナル(エクイティ)	561,200	明治生命保険相互会社	308,792

### 所有者別



### 所有数別



## 役員

(平成16年9月30日現在)

代表取締役社長 渡邊武雄  
 代表執行役員 佐々木正也  
 代表取締役専務執行役員 白石立夫  
 専務取締役執行役員 平川元通  
 専務取締役執行役員 菊池亨  
 常務取締役執行役員 島田教雄  
 取締役 三林康敏  
 取締役執行役員 川島喜夫  
 取締役執行役員 小沼博  
 取締役執行役員 山本通泰  
 取締役執行役員 下吉英之  
 執行役員 浜本昭文  
 執行役員 上野民夫  
 執行役員 上田幸男  
 常勤監査役 岡村啓雄  
 常勤監査役 関恒己  
 監査役 菅原利治  
 監査役 大谷康弘